

生徒のみんなへ

岸和田市立野村中学校
校長 松田 篤人

新型コロナウイルス感染症について

1月8日(金)の夜遅くに、本校生徒がPCR検査で陽性となり、新型コロナウイルス感染症に罹患していることがわかりました。9日(土)の朝早くに、君たちの保護者にメールでお知らせし、濃厚接触者は保健所から連絡があり、外出をしないようにとあり、驚いたことでしょう。先生たちも、学校の消毒や、保健所への対応などをおこない、濃厚接触者がいないかの確認をすぐにおこないました。その時に、保健所の人と話をしたことで大切なことを伝えます。

感染症にかからないようにするには、いくつかの方法があります。すでにみんなが取り組んでいるように、マスクをしたり、手を洗ったり、密をさけたり、食事のマナーを守り、具合が悪い場合には、学校を休んだりしてもらうことです。そして何より、健康的な生活を送ることが大切です。みんなが、これを徹底してくれていたから、学校内で濃厚接触者がでませんでした。今後も、大切なことです。

それでも、これまでもみんなは、風邪をひいたり、インフルエンザになったりしました。今はさらに新型コロナウイルスが課題になっています。この三つは、症状がよく似ています。ですから、今後、みんなの誰もがこうした症状を経験することがあるでしょう。具合が悪い人の中には、新型コロナウイルスに感染したと診断される人も身近な人の中から出るかもしれません。もちろん、それが友達だと分かったら自分は大丈夫かなど不安になることもあるでしょう。

新型コロナウイルスには誰もが感染する可能性があります。感染した人が悪いということではありません。学校やクラスの中で感染することは悪いことだという雰囲気が出てしまうと、新型コロナウイルスに感染したと疑われることをおそれて、具合が悪くなくても、その後は言いだしにくくなったり、病院に行くのが遅くなったりしてしまいます。そうすると、さらにわれわれの地域で感染が広がってしまうかもしれません。

感染した人や症状のある人を責めるのではなく、思いやりの気持ちを持ち、感染した人たちが早く治るよう励まし、治って戻ってきたときには温かく迎えてほしいと思います。もし、自分が感染したり症状があったりしたら、友達にはどうしてほしいかということを考えて行動してほしいと思います。すでに、感染した人達が心ない言葉をかけられたり、扱いをされたりしているという事例が起きています。こうしたことがわれわれの周りでも起きないように、みんなにも協力してほしいのです。

また、高齢者や病気がちの人は、感染すると症状が重くなってしまう危険があります。自分は元気だから大丈夫ということではなく、そのような人たちに感染させることがないように、思いやりの気持ちを持ってほしいと思います。

先にも書きましたが、感染予防を徹底して、仲間を思いやり、日々の学校生活を送っていくことがとても大切になります。もう一度、「だれもがきてよかったと思える野村中学校」であるために考えて行動していきましょう。